

はま 議会だより

No.263
1月臨時会
3月定例会
令和6年4月24日



令和6年3月定例会	2	
予算特別委員会	5	
町政 ここを 関 う	議員4人が登壇	10
委員会のうごき	13	

卒

それぞれのスタートへ

3月定例会

令和6年3月定例会を2月27日から3月14日まで17日間開き、条例制定1件、条例の一部改正7件、規約の変更1件、令和5年度補正予算7件、令和6年度当初予算7件などの議案を審議しました。

また、4人の議員が会派を代表して質問を行い、町当局の考えをたどしました。
(議案審議の結果は4ページに記載)

中小企業振興を推進 町の責務明記

中小企業等の振興に関する施策を推進し、地域経済の活性化や町民生活の向上に寄与するため、播磨町中小企業等振興基本条例を制定しました。



▲事業や地域発展に寄与（商工会）

問

町の責務は、「中小企業等の振興に関する施策を実施するよう努めるものとする。」となっている。なぜ「しなければならない。」と定めなかったのか。

答

財源の制約がある中で全ての施策が実現可能とは限らない。本条例で定めた基本理念にのっとり、商工会や金融機関、国や県と連携を図りつつ、振興施策を展開していきたい。

介護保険料引き上げ 基準月額5800円

高齢化で保険給付費などの増加が見込まれ、値上げを抑制するために基金約3億円を取り崩し、介護保険料基準月額を、5500円から5800円とする改正案を可決しました。



▲高齢化社会の進展

問

令和5年度播磨町介護保険事業特別会計補正予算案（第3号）で、減額補正になっている。令和6年度からの介護保険料の引き上げは、減額補正分を検討した結果においても引き上げなのか。

答

減額補正は、当初見込みより給付費などが少なかったことによる。令和6年度からの引き上げは、令和8年度までの見込みにより介護保険料の基準月額を300円引き上げる。

成年後見センター 福社会館を改修

成年後見センターを福社会館で開設するため、電気工事などの整備に必要な補正予算を可決しました。整備の完了までは、暫定的に福祉しあわせセンター内で開設されます。



▲福祉の拠点（福社会館）

問

福社会館は町社会福祉協議会（以下社協）が指定管理していたが、今は町が直営で管理している。成年後見センターと地域包括支援センターを福社会館において社協に委託するが、福社会館の在り方は。

答

福社会館は直営で管理し、総合相談や障害者基幹相談支援センターを実施している。成年後見センターと地域包括支援センターを福社会館で実施することで、福祉の拠点として拡充していく。

1月臨時会

1月23日

住民税均等割のみ 課税世帯へ10万円

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金として、

- ①住民税均等割のみ課税世帯へ1世帯あたり10万円給付
- ②住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯の18歳以下の児童1人につき、5万円を加算給付

する補正予算を可決しました。



▲物価高騰支援で生活を守る

問

令和5年12月臨時会で、住民税均等割非課税世帯に、令和6年2月をめどに7万円を追加で給付予定だった。この度の10万円は、いつ頃の給付になるのか。

答

住民税均等割のみ課税世帯の方には、確認書を送付後、振込先の口座や必要事項を記載し返送していただく。確認書の送付が3月中旬頃、初回の振込が4月上旬頃を予定している。

議案の審議結果【1月臨時会・3月定例会】

全 員 賛 成 で可決・認定した議案

		議 案	議 決 日
町長提出	令和5年度 予 算	一般会計補正予算（第8号）	1/23
		一般会計補正予算（第9号）	2/27
		国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
		財産区特別会計補正予算（第2号）	
		介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	
		後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	
		水道事業会計補正予算（第3号）	
		下水道事業会計補正予算（第3号）	
	令和6年度 予 算	一般会計予算	3/14
		国民健康保険事業特別会計予算	
		財産区特別会計予算	
		介護保険事業特別会計予算	
		後期高齢者医療事業特別会計予算	
		水道事業会計予算	
		下水道事業会計予算	
	条 例	中小企業等振興基本条例制定	3/5
		漁港管理条例の一部を改正する条例制定	
		防災会議条例の一部を改正する条例制定	
		水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定	
		水道事業給水条例の一部を改正する条例制定	
		兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更	3/14
播磨町長等の損害賠償責任の上限を定める条例の一部を改正する条例制定			
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定			
介護保険条例の一部を改正する条例制定			
その他	専決処分したものにつき承認を求める件（令和5年度一般会計補正予算（第7号））	1/23	

野北知見議員が健康上の理由により、令和6年1月31日付で辞職されました。
播磨町議会議員の定数14名に対し、1名欠員になりました。

令和6年度予算案を可決

令和6年度予算特別委員会を3月6日から12日までの5日間開き、議長を除く委員で集中審査を行い、厳正にチェックしました。その結果全ての予算を原案どおり可決しました。

一般会計は前年度より10億1609万円(8.4%)の増となりました。

歳入の主要財源である町税は、歳入全体の43.5%を占め、前年度より約1億3653万円(2.5%)の増となっています。

国からの財源調整で配分される地方交付税は、約2億5500万円(24.5%)の増を見込んでいます。

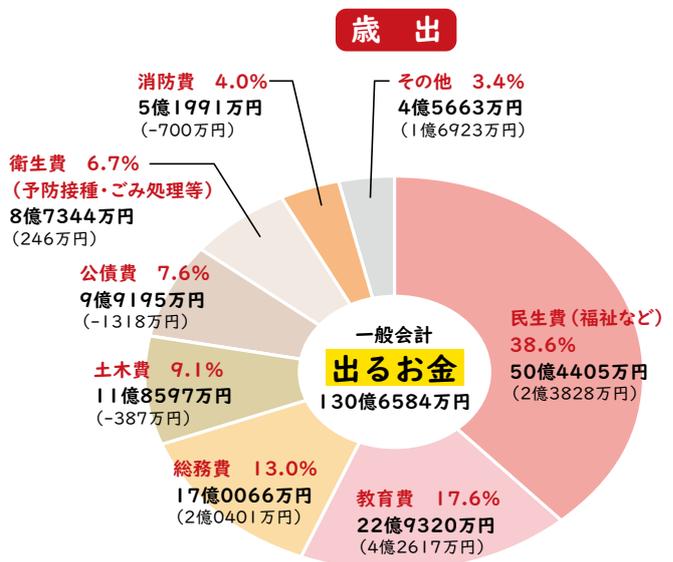
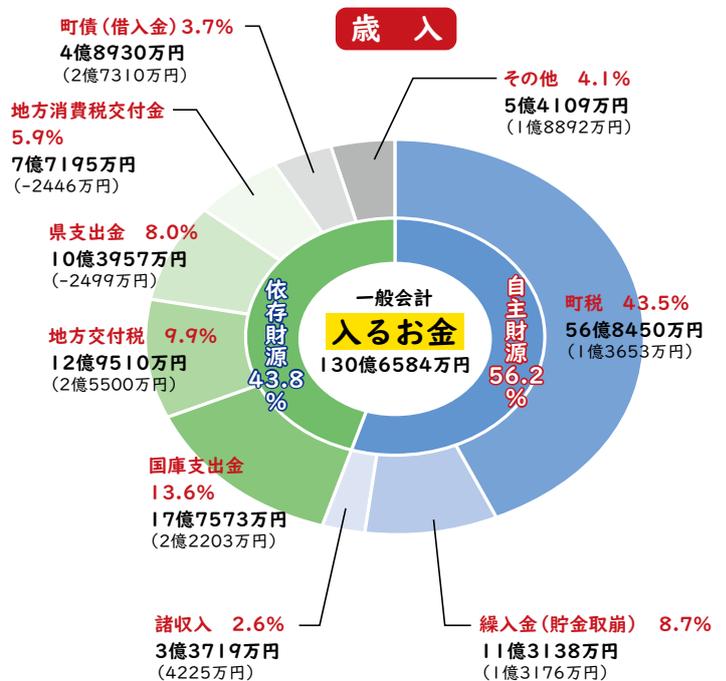
国庫支出金は、約2億2203万円(14.3%)の増となっています。

県支出金は、2499万円(2.3%)の減となっています。

歳出の主なものは、民生費が全体の38.6%、教育費が17.6%を占めています。

民生費では、妊産婦応援タクシー事業のタクシー券を一枚あたり700円に増額し、妊産婦の経済的な支援の充実を図ります。また新たに重度障害者等就労支援や成年後見センター運営事業を開始し、障がい者の就労の機会の充実や、権利擁護の専門的な支援を行います。さらに、50歳以上の方を対象に、带状疱疹ワクチンの予防接種費用の半額を補助します。

教育費ではこども支援センター(仮称)の設置などにより、誰一人取り残されない学びの充実を目指しています。



区分	予算額	対前年度伸び率	
一般会計	130億6584万円	8.4%	
特別会計	国民健康保険事業	34億8682万円	5.3%
	財産区	12億7628万円	-3.7%
	介護保険事業	30億5397万円	-3.0%
	後期高齢者医療事業	5億6706万円	9.2%
特別会計の計	83億8414万円	1.0%	
水道事業会計	13億3366万円	-21.4%	
下水道事業会計	22億0887万円	28.9%	
合計	249億9252万円	5.2%	

グラフの見方

上段：科目、総額に占める割合
 中段：予算額
 下段：対前年度増減

※各項目で1万円未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。

の主な事業

2億3,306万円

見守りカメラ設置へ(新)

犯罪の防止・事件の早期解決と住民生活の安全確保を図るため、通学路や学校周辺などを中心に、町全体に見守りカメラを設置する。

1億5,583万円

児童福祉施設を整備(新)

保育施設の定員拡充のために増築工事をする社会福祉法人に対し、費用の一部を助成する。また、待機児童の解消に向けて令和8年度に保育施設の新設を目指し、設置・運営事業者を公募する。

2億600万円

播磨幼稚園の園庭を拡張(新)

子どもたちが伸び伸びと遊ぶことのできるスペースを確保するため、園庭を拡充するとともに、保護者送迎と給食搬入のために駐車場の整備を行う。

1,500万円

通学路の安全対策(新)

播磨西小学校周辺において最高速度30km/hの速度規制のほか、道路面に凹凸など、物理的な速度抑制対策を実施した「ゾーン30プラス」を、地域住民と合意形成を図りながら整備する。

画像出展：国土交通省 国土技術政策総合研究所

5,618万円

小・中学校の体育館に空調を整備(新)

児童生徒が使用するだけでなく、災害時に避難所となる体育館について、熱中症予防及び避難所としての環境向上を図るため空調設備の整備を進める。

1,955万円

土山駅北地区のまちづくり(新)

住民や地域との連携を密にし、再整備に向けた基礎的な調査を行うとともに整備方針を検討し、基本構想を策定する。

令和6年度

362万円

带状疱疹ワクチン予防接種費用を助成(新)

带状疱疹の発症予防と合併症予防のため、発症率が高くなる50歳以上の方を対象に、接種費用の概ね半額を助成し、住民の健康増進と経済的負担の軽減を図る。

150万円

高齢者の補聴器購入費用に助成(新)

聴力機能の低下により日常生活に支障がある高齢の方に対し、補聴器購入費用の一部を助成し、社会参加や地域交流を促進するとともに認知症予防やフレイル予防を推進する。

97万円

重度障がい者等への就労機会の拡大(新)

働く重度障がい者等の方に対し、通勤や職場などにおける支援を実施する。

1,566万円

成年後見センターを開設(新)

成年後見制度の利用を希望する住民や福祉関係者などが相談できる体制を整備し、必要な人への成年後見制度の利用促進を図る。

1億523万円

大池の遊歩道を改修(新)

ため池堤体の土表面の状態が悪化しているため、西側の堤体と遊歩道の改修工事を行う。

1,705万円

大池広場の周辺を整備(新)

地域から寄附を受けた大池広場の用地を有効活用するため、地域の意見を取り入れながら、広場整備における基本計画の策定や、円滑な通行の確保などの道路整備に係る設計を行う。

令和6年度の各事業の予算案が適切妥当であるのかを慎重に審査するため、同審査を予算特別委員会に付託し、5日間にわたり、さまざまな視点からの質疑を行いました。

無料法律相談の 利便性は

問 相談申し込みは、受付に行き予約をとっているが、利便性を考慮して、変更する考えは。

答 受付をするという形で、その後の円滑な相談につながると考えている。また、空き状況については電話で確認できる。

総合防災訓練は

問 実践的な防災訓練を目指すとのことだが、令和6年度参加者を増やす取り組みは。

答 総合防災訓練として避難所開設までできるよう、啓発していきたい。

ふるさと納税の 件数は

問 令和6年度の予算は、200件分だが、それは目標か最低限の数字なのか。

答 予算以上はいくと考えているが、この数値にとらわれず、より多くの寄附が獲得できるように町内事業者とともに取り組んでいきたい。



▲より快適に（シーサイドドーム）



▲開発中の返礼品

シーサイドドーム 改修

問 はりまシーサイドドームは、利用者に人気の施設である。老朽化が進んでいるが、どのように改修するのか。

答 ドーム屋根の防水、管理棟の外壁塗装、空調設備、LED化や駐車場の整備。7月から令和7年1月まで休館になる。

中央公民館の 管理は

問 次期指定管理者からの事業計画書で、具体的な事業が見えてくる。それをもとにして協定を締結するのか。

答 「いつでも誰でも来られる、みんなの居場所」など新たな3つのコンセプトを取り入れる事業計画書により、協定を締結する。

三十歳のつどい 視聴改善は

問 来場できない方にオンラインも用意しているが、一部の映像を視聴できない。権利関係もあるが改善すべきでは。

答 会場内で流された映像のすべてを、オンラインでも視聴できるように関係者と協議していく。

予算特別委員会

地方バスの維持は

問 土山駅から東加古川駅、加古川駅のバス路線を維持するためにどのように検討しているのか。

答 現行の路線バスをワゴンタイプの「かこバスミニ」に変更する。大中地区の一部の生活道路も通行できるようになる。

録音付電話の補助額は

問 自動録音機能付電話機等購入補助金について、住民への補助額はどの程度になるのか。

答 65歳以上の方で、自動録音電話機には1万円を、電話機の外付け録音機には5千円の補助を行う。

あんしんボタンの拡充

問 高齢者と同居している方が不在の際に、高齢者が家一人になり心配。補助対象条件を緩和する考えは。

答 そういうお声を聴いているが、現時点では補助対象条件の緩和は考えていない。



▲8月末までの受診でクオカードゲット



▲特殊詐欺には、ご注意ください

特定健診の早期受診を

問 生活習慣病予防に有効な、特定健診の受診率向上のための施策は。

答 8月末までの受診者に「QUOカード千円」を付与する早期受診キャンペーンを令和5年度に引き続き実施する。

部活動の地域移行は

問 部活動地域移行は、多様性、安全安心など生徒ファーストの視点に立ち実施すべきでは。

答 子どもを第一に考え、円滑な移行ができるよう、行政、スポーツクラブ21はりま、地域が連携し推進していく。

こどもの想い事業は

問 新規事業である、こどもの想い具現化事業補助金とは、どのようなものか。

答 中学校生活において、中学生の熱い想いを生徒総会や中学生議会などを経て、具現化するための計画をしている。

町政

ここを聞く



▲録画配信

3月5日に4人の議員が会派を代表し
令和6年度施政方針について町当局の考えをたどしました。

代表質問とは、3月定例会において会派を代表する議員が町長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問です。

質問者		質問事項
1	公明党代表 木村 晴恵	(1) 令和6年度施政方針は (2) 「播磨町子どもの権利条例」の進捗状況と今後は (3) 認知症の理解を深め、安心して暮らせるまちづくりを
2	政風会代表 岡田 千賀子	(1) 令和6年度施政方針は
3	チーム新星代表 大北 良子	(1) 令和6年度施政方針は
4	播磨町民の会代表 宮宅 良	(1) 令和6年度施政方針は (2) 持続可能なまちづくりを



公明党代表
きむらはるえ
木村晴恵 議員

接種の助成

問 带状疱疹のワクチン接種の助成を、令和4年12月と5年6月定例会一般質問で提案し、概ね半額の補助を助成するとの答弁であった。令和6年度から実施する助成額は。

答 自己負担の半額相当で、不活化ワクチンの場合は2回接種が必要であり、1回に1万円、2回分2万円分を助成する。生ワクチンの場合は1回4千円とする。

補聴器購入助成拡充は

問 認知症予防対策として、令和3年12月と令和5年12月定例会一般質問で補聴器購入への助成を訴え、令和6年度から購入費用の一部補助上限3万円との答弁があった。申請に必要な病院での意見書作成費用は個人負担の考えであり今後の補助拡充の考えは。

答 「医師意見書作成費用」については、自己負担としている。

令和6年度からの新規事業であり、円滑な事業実施に努め、申請状況や高

答弁

自己負担の半額相当を助成する

たいじょうほうしん
带状疱疹ワクチン
接種助成額は

年齢の方々のニーズを踏まえ今後の補助拡充は検討したい。

子どもの権利条例制定は

問 「子どもの権利条例を制定していくべき」と提案し、実効性の高い条例を制定するとの答弁だった。

答 子どもの意見を踏まえた上で、子ども課を中心に関係部署で検討を行い、令和7年4月1日からの施行を予定する。



▲带状疱疹ワクチンで早めの予防を

代表
表
質
問



政風会代表
おかだちかこ
岡田千賀子 議員

子育て応援

問 令和6年4月の町内保育待機児童数と令和7年度以降の保育待機児童の予測人数は。

答 国基準の待機児童数は10名、入所申し込み保留児童数は10名となる見込み。

令和7年度以降については子ども子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査の結果から予測したい。

問 子育て世帯のニーズに対応し、保育待機児童の解消対策は。

答 播磨保育園が令和7年4月から保育所型認定こども園に移行する。保育定員が26人増加、幼稚園部が15人の設定で、遊戯室を4・5歳児の保育室に改修し、新たに遊戯棟を増築する。

新たな保育施設は

問 民間認定こども園として募集する保育施設の定員や予定地は。

答 定員は80人から120人。

町有地を無償で貸し付け、令和8年4月の開設を目指す。

答弁

保育所を新設する

保育待機児童
解消対策は

夏休みの学童保育は

問 長期休業中の学童保育の受け入れ体制は。

答 通常利用の児童で定員の余裕がなく、利用希望者の受け入れに限られている現状。

令和6年夏休みから新たに播磨幼稚園の遊戯室で受け入れる児童数は15人。時間などは他の学童保育所利用と同じ要件で実施する。



▲こども園に移行予定の播磨保育園



チーム新星代表
おきたよしこ
大北良子議員

防犯対策は

問 令和6年度から下校時の児童見守り対策として青色パトロールカーが導入される。予算を計上している根拠と実働する人員の確保は。

答 予算根拠は乗務員である警察OB職員3名分の人件費であり、4月の採用に向けて準備している。

問 それに加えて犬の散歩時を兼ねた見守りや、ランニングパトロールなど、民間ボランティアの導入は考えていないのか。

答 他市町では自主的な防犯活動団体があることは承知している。本町でも同様の活動の相談があれば、団体に対する補助制度もあり支援していきたい。

子ども支援センターとは

問 特別支援教育、不登校対策や生徒指導における取組みを一元化するために、子ども支援センターを設置するにあたるが主な内容は。

答 地域学校教育課内に設置し、教育相談の充実を図る。



▲町内の見守り活動をさらに強化

青色パトロールカーの人員は採用に向け準備している

答弁

問 小中学校に不登校対策支援員を配置し、家庭・学校・ふれあいルーム・コミセンサテライトでの連携強化に努めるとあるが、具体的にどのようなものか。

答 経験豊富な支援員6名を配置する予定である。当初は児童生徒の理解に努め、定期的な情報交換、情報共有などを通じて、活動を活性化させながらより円滑な体制整備に努めたいと考えている。

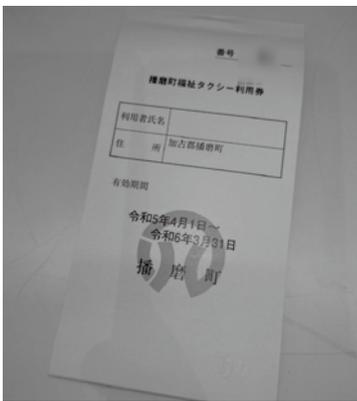
交通困難者



播磨町民の会代表
みやけりょう
宮宅良議員

問 令和4年9月の一般質問で、福祉タクシー利用券や高齢者タクシー料金助成券について、「運賃の経年推移を調査しているのか」「交通困難者を取り巻く環境が変化の中で、対象となる者の範囲拡大や交付上限枚数の引上げなどを検討すべき」と質問しているが、令和6年度施政方針で、同利用券や助成券を70円に引き上げるとあるが根拠は。

答 高齢者の移動支援を充実させる方法を検討し、助成券1枚分の金額を初乗り料金相当額の70円に引き上げる。



▲タクシー料金の助成充実

タクシー助成券引き上げ根拠は

答弁

初乗り料金相当額の700円である

また、利用券も同様に700円に引き上げる。

河川等監視カメラ改善を

問 河川等監視カメラは、播磨大橋監視カメラと水田川水位監視カメラを設置しているが、静止映像で曇って見づらい。改善する必要があるのでは。

答 技術的・経済的な観点も含め、より良い形で設置していく。

ふるさと納税の活用を

問 中央公民館が地域拠点として機能するためには、個々の団体の活動資金の確保が必要。また、中学校部活動の地域移行も同様、資金確保が必要である。積極的にクラウドファンディング型ふるさと納税を活用すべきでは。

答 クラウドファンディングは有益であり、それぞれ活用を予定していく。



総務建設

見守りカメラ設置

■1月23日委員会開催

見守りカメラの設置

設置及び管理運用は見守りカメラ設置に関する条例を制定し、個人情報保護の観点も踏まえ適正に管理する。設置台数は町内全域で約250台程度想定している。各自治会に最終位置案を提示し、確定後、令和7年3月末までに設置する。

【主な質疑応答】

問 財源について、国の交付金を活用するとあるが、見込額は。

答 国の「デジタル田園都市構想推進交付金」で2分の1を活用し、上限1億円を考えている。



▲先行実施している
加古川市の見守りカメラ

地域公共交通計画(素案)計画書全体の構成は第1章から第6章までで、完成版では参考資料として用語集を追加する。公共交通を取りまく現状、住民アンケート調査、

バス利用実態調査などの結果の概要をまとめた上で、持続可能な公共交通体系の確保実現に向けた施策を掲げている。計画期間は令和6年度から令和10年度までの5年間とし、計画区域は町全域とする。

ゾーン30プラス計画

播磨西小学校付近の通学時に事故が起きやすい箇所、ゾーン30プラスを整備する。地元住民に説明会を実施し、令和7年3月末までに整備を完了する。

防犯・交通パトロール
町内の防犯パトロールを加古川市に委託しているが、令和6年度より、パトロール日数を増やし町単独の実施に変更する。町の防犯対策として見守りカメラと防犯・交通パトロールの両輪で安全安心の対策を進める。

問 近隣市町との交通ネットワークの連携を早く進めることは出来ないか。

答 路線バスの土山駅南口から加古川駅ルートが運行休止することから加古川市の「かこバスマニ」の延伸を予定している。

■12月20日委員会開催

土山駅北まちづくりの進捗は

「播磨町土山駅周辺地区まちづくりコンセプトブック」の案を広く意見募集し、令和6年2月23日に完成報告会を地域で行い、製本したものを関係者に配布する。

■12月20日協議会開催

公共施設等総合管理計画の見直し

本町では高度経済成長期に多くの公共施設、インフラ資産を整備しており、改修時期を迎えていることから、改めて公共施設等の在り方を検討する必要がある。役場第一庁舎は建築から51年が経過し、大規模改修、機能向上対策を行っているが、スペースの確保が課題となっていることから、建て替えを含めた庁舎の在り方を検討する。

【主な質疑応答】

問 庁舎の建て替えとなると時間がかかるが、期間など計画は想定しているのか。

答 9年後に建築から60年を迎えることとなる。庁舎の現状としてスペースの不足や来庁者の利便性の向上など、多方面からの検討が必要となる。今後、庁舎の問題点などを整理し、大規模改修だ

けでなく建替えを含め、方向性を検討していく。

大池広場周辺の整備

大池広場の利活用について、現在ワークショップの実施に向けて準備を進めている。道路の予備設計は町道浜幹線への接続方法や道路の線形、交差点の形状について、兵庫県公安委員会に事前協議書の提出を行う状況である。

今後は地域住民に対して道路線形や大池広場の敷地形態を示した上で、活用方法についてワークショップを実施する。

【主な質疑応答】

問 道路整備について敷地所有者からの用地買収は進んでいるのか。

答 地権者が9名程度おられ、道路の中心線や交差点など、兵庫県公安委員会との協議が完了してから用地買収することになる。

委員会では議会閉会中も暮らしやすい町づくりに向けて調査・研究をしています。なお、詳しい内容は播磨町議会ホームページの委員会報告書をご覧ください。



▲委員会報告書
はこちら

厚生教育

流通科学大学の学術・人的支援を

■12月13日開催

中学校部活動の地域移行を進めているが、人材不足や専門的な知識が、今後の課題である。流通科学大学が所有するスポーツ等に関する幅広い知見と、専門性の高い学生人材による支援を得ることで、諸課題の早期解決を目指すための包括連携協定を締結する。

■12月21日開催

地域福祉計画等の進捗状況

第5次播磨町総合計画を上位計画とし、①播磨町地域福祉計画、②障害者計画、③はりま健康プランの三つの行政計画策定において、令和6年1月にパブリックコメントを実施する。2月に最終の策定委員会を実施し、3月末までに完成予定と考えている。

【主な質疑応答】

問 地域福祉計画で、相談体制の強化とあるが、民生委員の負担は。

答 コミセン単位で民生委員が話し合う機会があり、地域の中で解決できるようなことはないかなど、地域ネットワークをつくりながら重層的に展開し、相談を受けること



で、負担が減るようには思っている。

高齢者の補聴器購入費用の助成

令和6年度から、高齢者の補聴器購入費助成事業の実施を考えている。

加齢による聴力の低下により日常生活に支障がある高齢者に補聴器の装用を推進することで、聴力低下に早期に対応し、生活の質を維持し、社会参加や地域交流を促進することで、認知症予防及びフレイル予防を目的とする。対象者は町内に住所を有する65歳以上で、耳鼻咽喉科の医師の診断を受け、必要性を認められた人を対象とする予定である。助成額については、3万円を上限に一人一回限りと考えている。

広報誌やホームページ、町内や加古川医師会管内の耳鼻咽喉科にチラシを置くなどの周知を行う。

行政視察

■1月16日（1日目）

岐阜県笠松町



笠松町子どもの権利に関する条例に基づく現場での取組事例を視察した。

子どもの権利条例に基づき、子どもの権利の内容、大人の役割、子どもの責務などを定めることにより、子どもの権利を保障し、すべての子どもたちが自由に生き生きと育つまちを目指すために、子どもも大人も同じ権利を持つ一員として、自覚と責任を持って一緒にまちづくりを進めている。

■1月17日（2日目）

愛知県東海市



不登校やひきこもりがちな方、人との付き合い方で悩んでいる方と、その家族を応援する東海市ひきこもり支援センターほっとプラザの取組事例の現場を視察した。

- 事業内容
- ①相談支援
 - ②居場所支援
 - ③家族支援
 - ④就労準備支援
 - ⑤学習・生活支援
 - ⑥広報・啓発事業

悩みがある人を対象としていて、チラシなどには、ほとんど「ひきこもり」という言葉を入れていない。相談につながる取組として「ふくし」と書いた共通する相談マークのバッジを、相談スタッフ、民生委員、障がい者支援をしているスタッフなどに付けてもらい、こまり事をキャッチしたときに、ほっとプラザにつないでもらえるように作って活動している。



表紙の題字は私が書きました



播磨南小学校 6年
おおの ゆあ さん(現中1)
大野友愛さんの作品です

播磨町の魅力

私は一歳のときから播磨町に住んでいて、播磨町が大好きです。播磨町のことをもっと知りたいと思います。魅力を探してみました。

まず、播磨町は海に面していて、少し歩くと海が見えます。播磨町の朝の海は太陽に照らされていて、とてもきれいです。整備された公園も多くあり、私たちは安全に遊ぶことができます。また、伝統芸能を継承し、播磨町を活性化させる活動をしていることも魅力の一つです。私が古宮の秋祭りに参加したときは、獅子舞や和太鼓など、小学生から大人までたくさんの方が祭りに関わっていて、人と人とのつながりを感じました。

このように播磨町にはたくさん魅力があり、播磨町を支えている人たちがいることに気づきました。まだまだ播磨町には私の知らない魅力があると思うので、これからも見つけていきたいです。

～まちの将来を担う子どもたち～



▲第1回子ども議会(小学6年生)



▲各学級の代表が町の課題を問う

Photo Memory
フォトメモリー

季節の花ことば

蒲公英(たんぽぽ)

花言葉は「幸せ」です。
「幸せが届きますように。」

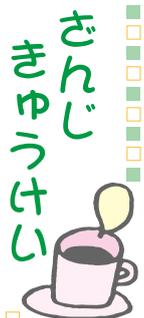


5月臨時会・6月定例会のご案内

- ▶日 時 5月10日(金)、6月4日(火)、11日(火)、12日(水) いずれも午前10時から
* 6月11日(火)、12日(水)は一般質問の予定ですが、質問者数などによって変更になる場合があります。
- ▶場 所 第1庁舎3階 議場 *車いすの方も昇降機により入場し、傍聴していただけます。
- ▶請願・陳情の締め切り 請願と陳情の締め切りは、5月27日(月)午後5時までです。
*当日は、インターネットで本会議の生中継を行います。過去の映像は常時放映中です。
町議会のホームページから「議会中継」を選びクリックしてください。
- ▶お問い合わせ 議会事務局 Tel 079-435-2387



▲議会ホームページ



穏やかな春の光を満喫すると、あつという間にも鮮やかな新緑の季節が到来。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

新年度に入り「春風フェス」をはじめ楽しいイベントが開催されます♪
ウオーキングがてら参加して体の隅々まで元気が行き渡るようお日様とも仲良く(日焼け対策と水分補給を十分に!)したいですね。町内にステキな笑顔があふれ、たくさん思い出が生まれることを願っています。(岡田)

新年度も引き続き、読みやすく議会活動が伝わりやすい誌面とするため、チャレンジを続け取り組んでまいります。

- 宮宅 良 委員長
- 細田 武男 副委員長
- 岡田千賀子 委員
- 木村 晴恵 委員
- 竹内 基就 委員